

# 平成29年 死亡災害発生状況一覧表

宮崎労働局  
平成29年8月30日現在

番号	災害発生日	事故の型	起因物	業種	性別	年齢	経験期間	災害の概要
1	1月	はさまれ、巻き込まれ	機械集材装置	木材伐出業	男	30代	6年	被災者は、先山で機械集材装置に杉2本（長さ21m）を荷掛けし、無線で集材機の運転者に巻上げの指示をした。その後、被災者から巻上停止の指示が無線であったのを最後に応答がなくなったため、同僚が被災者の作業場所へ行ったら、集材中の杉と根株の間に左足を挟まれ倒れている被災者を発見した。
2	1月	激突され	トラック	木材伐出業	女	60代	15年	丸太を土場からトラックで搬出するため、運転手は転回場でトラックを方向転換し、約50m先の丸太の積み込み箇所まで後進させ停車したところ、機械集材装置で搬送してきた材の荷外し作業を担当していた被災者が、トラックの車体の下に倒れていた。
3	1月	おぼれ	水	清掃・と畜業	男	30代	2年	一般家庭用飲料水の水槽（水深4.5m）内の堆積物除去作業のため、被災者は潜水具を装着し、水中ポンプを掃除機のように使いながら水槽内を清掃していたところ、意識不明となり、その後死亡した。
4	1月	交通事故（道路）	乗用車	その他の小売業	女	50代	30年	商品配達を終え、被災者は軽貨物自動車を運転し会社に戻っていたところ、上り坂の左カーブにさしかかったところで中央線を越え、対向車と衝突した。
5	1月	激突され	トラック	その他の建築工事業	女	60代	3年	養豚場解体現場内で、コンクリート片をダンプトラックに積み込むため、同僚がダンプトラックを運転し後進させたが、ぬかるんだ地面にタイヤをとられた。ダンプトラックの運転手を交代し、一度前進させた後、ぬかるみにはまらないよう勢いをつけ再度後進させたところ、木片を一輪車で運搬していた被災者に激突した。
6	2月	交通事故（道路）	バス	バス業	男	50代	3年	バスの転回場に停車していたバスが動き出し、バス運転手がバスと民家ブロック塀との間に挟まれた。
7	2月	交通事故（道路）	トラック	一般貨物自動車運送業	男	40代	10年	被災者は木材チップを積載したトレーラーを運転し、取引先に向かっていったところ、左カーブを曲がりきれず、道路右側のガードレールを突き破り、約15m下に転落した。
8	5月	はさまれ、巻き込まれ	その他の装置、設備	製鉄・製鋼・圧延業	男	40代	9年	石炭が運搬されるベルトコンベアの上部に横行する形で設置されている磁選機（石炭中の鉄片等をマグネットで取り除く機械）の異常エラーが発生した。制御室担当者が磁選機担当の被災者に連絡するも応答がなかったため、別の作業者が現場を確認したところ、磁選機とベルトコンベアのチェーンカバー部の間に胸部を挟まれている被災者を発見した。
9	5月	墜落、転落	はしご等	その他の小売業	男	70代	25年	被災者は、老人ホームの外壁に通路用の照明（通路面からの高さ約3.2m）を取り付ける工事に従事していた。同ホームの園長が作業内容を確認しに行ったところ、砂利が敷設された通路に倒れている被災者を発見した。被災者が倒れていた場所は照明取り付け位置の下方であり、通路には脚立が設置されていた。
10	6月	交通事故（道路）	トラック	一般貨物自動車運送業	男	40代	1年	九州自動車道下り車線を走行してきた被災者運転の大型トラックが、えびのインターチェンジの料金所へ向かう左カーブで、カーブを曲がりきれずにガードレールに衝突し横転した。
11	7月	交通事故（道路）	トラック	一般貨物自動車運送業	男	40代	12年	九州自動車道上り車線を走行していた被災者運転の3.7トン積みのトラックが、後続のトラックより追突され横転した。
12	7月	飛来・落下	木材、竹材	木材伐出業	男	60代	39年	被災者は、約40度の傾斜地において、伐倒木の枝打ち等の作業を行っていた。その後、被災者のチェーンソーの音が聞こえなくなったため、同僚が被災者の作業場所へ行ったら、伐倒木と玉切り材の間に挟まれている被災者を発見した。被災者が作業していた場所の斜面上部に仮置きしていた玉切り材が転がり落ちてきたものと推定される。

13	7月	激突され	玉掛用具	その他の金属製品 製造業	男	30代	1年	床上操作式クレーンを用いて鉄板（2.5m×1.8m×2.3mm）41枚をベルトスリング1本で高さ約1.5mの位置で運搬作業中、鉄板が荷崩れをおこし、その鉄板の一端が地面についた直後にベルトスリングから外れた鉄板が被災者に激突したものの。
14	7月	分類不能	分類不能	木造家屋 建築工事業	男	60代	46年	平屋のリフォーム工事において、被災者は屋根上でテレビアンテナの取り外し作業を行っていた。その後、被災者の作業する音が聞こえなくなったため、同僚が被災者をさがしたところ、軒下でうつ伏せに倒れている被災者を発見した。なお、被災者は、作業中にヘルメットを着用していなかった。
15	8月	激突され	立木等	木材伐出業	男	60代	45年	被災者は、同僚と計3名でそれぞれ分かれて伐倒作業を行っていた。その後、被災者の伐倒作業が進んでないため、同僚が被災者の作業場所へ行ったところ、雑木（長さ約10m）の下に倒れている被災者を発見した。被災者が雑木のかかり木処理をしないまま、次の立木の伐倒作業等を行っていたものと推定される。